

## 安全データシート

作成日 2018年10月10日  
最新改定日 2021年7月30日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ACDelco ATF TypeⅢ(H)  
 化学品番号 19350983 (18L)  
 供給者の会社名 株式会社阿部商会  
 住所 東京都千代田区神田美土代町3  
 電話番号 03-3233-2213  
 推奨用途及び使用上の制限 潤滑油、自動変速機油

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性 引火性液体 区分外  
 自然発火性液体 区分外  
 環境有害性 水生環境有害性(急性) 区分3  
 水生環境有害性(長期間) 区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

## GHSラベル要素

絵表示 GHSに基づく絵表示なし  
 注意喚起語 GHSに基づく注意喚起語なし  
 危険有害性情報 長期継続的影響により水生生物に有害  
 注意書き  
 安全対策 環境への放出を避けること。  
 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
 応急措置 気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
 保管 換気の良い場所で保管すること。  
 廃棄 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

## 化学物質・混合物の区別

## 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水素処理ヘビーパラフィン油	85～95%	特定できない	(2)-10	既存	64742-54-7
メタクリル系共重合体	0.25～1.485%	特定できない	非公開	非公開	—
3-(デカン-1-イルオキシ)-1,1-ジオキソ-1λ(6)-チオラン	0.25～1.485%	C14H28O3S	(5)-5448	8-(6)-99	18760-44-6
ジノニルジフェニルアミン	0.05～0.735%	C30H47N	(3)-138	既存	36878-20-3
アルコキシ化長鎖アルキルアミン	0.05～0.735%	特定できない	(7)-60	既存	61791-44-4
長鎖アルケニルイミダゾリンアルコール	0.005～0.075%	C22H42N2O	(5)-3496	既存	95-38-5
4-ドデシルフェノール	0.005～0.075%	C18H30O	(3)-511	既存	104-43-8
ヘプチル-1-[2,5-ジメチル-4-(2-メチルフェニルアゾ)]フェニルアゾ-2-ナフトール	0.012～0.014%	C31H34N4O	(4)-1669	5-1145	92257-31-3

キシレン	0.004～0.008%	C6H4(CH3) <sub>2</sub>	(3)-3	既存	1330-20-7
エチルベンゼン	0.0006～0.0014%	C6H5C2H <sub>5</sub>	(3)-28	既存	100-41-4
その他(GHSに影響を与えない成分)	0.47～8.67%	特定できない	不明	不明	—

分類に寄与する不純物及び安定化添加物  
石油分

情報なし  
85～95%

労働安全衛生法  
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

鉱油(政令番号:168)(90%～100%)

#### 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。  
眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

#### 5. 火災時の措置

消火剤

小火災:粉末消火剤、二酸化炭素、散水、一般の泡消火剤。

使ってはならない消火剤  
特有の危険有害性

大火災:散水、水噴霧、一般の泡消火剤。  
棒状注水。  
可燃性物質:燃えるが、容易に発火しない。  
加熱により容器が爆発するおそれがある。  
吸入すると有害となるおそれがある。  
接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。  
火災時に刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

消火水が汚染を引き起こすおそれがある。  
危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。  
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

空気式呼吸器(SCBA)を着用する。  
防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
関係者以外は近づけない。  
風上に留まる。  
低地から離れる。  
作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避け漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。  
立ち入る前に、密閉された場所を換気する。

## 環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

環境中に放出してはならない。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 封じ込め及び浄化の方法・機材

すべての発火源を取り除く(近傍の喫煙、火花や火災の禁止)

危険でなければ漏れを止める。

乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

## 技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

## 安全取扱注意事項

火気注意。

空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

飲み込みを避けること。

皮膚との接触を避けること。

粉じん、ヒュームの吸入を避けること。

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

環境への放出を避けること。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

取扱い後はよく手を洗うこと。

## 接触回避

## 衛生対策

## 保管

## 安全な保管条件

保管場所には危険物を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。

酸化剤から離して保管する。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

## 安全な容器包装材料

消防法で規定されている容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2017年版)	ACGIH (2017年版)
水素処理ヘビーパラフィン油	未設定	3mg/m <sup>3</sup>	TWA 5mg/m <sup>3</sup> (I)
メタクリル系共重合体	未設定	未設定	未設定
3-(デカン-1-イルオキシ)-1,1-ジオキソ-1λ(6)-チオラン	未設定	未設定	未設定
ジノニルジフェニルアミン	未設定	未設定	未設定
アルコキシ化長鎖アルキルアミン	未設定	未設定	未設定
長鎖アルケニルイミダゾリンアルカノール	未設定	未設定	未設定
4-ドデシルフェノール	未設定	未設定	未設定

ヘプチル-1-[2,5-ジメチル-4-(2-メチルフェニルアゾ)]フェニルアゾ-2-ナフトール	未設定	未設定	未設定
キシレン	50ppm	50ppm(217mg/m3)	TWA 100 ppm STEL 150 ppm
エチルベンゼン	20ppm	50ppm(217mg/m3)	TWA 20 ppm

## 設備対策

本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。  
空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。

## 保護具

呼吸器の保護具  
手の保護具

呼吸器保護具を着用すること。  
保護手袋を着用すること。  
適切な手袋を着用すること。

眼の保護具  
皮膚及び身体の保護具

適切な保護眼鏡を着用すること。  
適切な保護衣を着用すること。  
不浸透性の保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 外観

物理的状態  
形状  
色

液体  
液体  
透明、赤色  
炭化水素系油臭  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
288℃  
290-500℃  
473℃  
220℃(クリーブランド開放式)  
データなし  
適用されない  
データなし  
<0.1kPa(20℃)  
データなし  
0.84  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
7.2 cSt(100℃)

## 臭い

臭いのしきい(閾)値

pH

融点・凝固点

沸点

初留点

沸騰範囲

90%留出温度

引火点

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

燃焼性(固体、気体)

燃焼又は爆発範囲

蒸気圧

蒸気密度(空気=1)

比重(密度)

溶解度

n-オクタノール/水分配係数

自然発火温度

分解温度

動粘性率

## 10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

危険有害反応可能性

酸化剤と反応する。  
通常の条件においては安定である。  
過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。  
熱、火花、裸火などの着火源。  
強酸化剤、還元剤。  
燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物を発生する。

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害な分解生成物

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口 経皮 吸入(蒸気) 吸入(ミスト)	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性		データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データが無く分類できない。 区分1ビス(2-ヒドロキシエチル)アルキル(牛脂)アミンの濃度が濃度限界(1.0%)未満であるため分類されない。 データが無く分類できない。
生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 吸引性呼吸器有害性		データが無く分類できない。 データが無く分類できない。 データが無く分類できない。 データが無く分類できない。 データが無く分類できない。 データが無く分類できない。

## 12. 環境影響情報

## 水生環境有害性(急性)

アルコキシ化長鎖アルキルアミン、長鎖アルケニルイミダゾリンアルカノール、4-ドデシルフェノール、ヘプチル-1-[2,5-ジメチル-4-(2-メチルフェニルアゾ)]フェニルアゾ-2-ナフトール、エチルベンゼンが区分1、キシレンが区分2で、区分1の成分濃度×毒性乗率×10×10 + 区分2の成分濃度×10 の濃度合計が濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分3「水生生物に有害」に該当する。(メタクリレート系共重合体、3-(デカン-1-イルオキシ)-1,1-ジオキソ-1λ(6)-チオラン、ジノニルジフェニルアミン、その他については水生環境有害性が不明である。)

## 水生環境有害性(長期間)

長鎖アルケニルイミダゾリンアルカノール、4-ドデシルフェノールが区分1、3-(デカン-1-イルオキシ)-1,1-ジオキソ-1λ(6)-チオラン、アルコキシ化長鎖アルキルアミン、キシレン、エチルベンゼンが区分2で、区分1の成分濃度×毒性乗率×100 + 区分2の成分濃度×10 の濃度合計が濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分3「長期継続的影響により水生生物に有害」に該当する。(メタクリレート系共重合体、ヘプチル-1-[2,5-ジメチル-4-(2-メチルフェニルアゾ)]フェニルアゾ-2-ナフトール、その他の成分については水生環境有害性が不明である。)  
モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

## オゾン層への有害性

## 13. 廃棄上の注意

## 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

## 汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規則

Regulatory Information  
by Sea

Not dangerous goods

	Regulatory Information by Air	Not dangerous goods
国内規制	陸上規制	消防法の規定に従う。
	海上規制情報	非危険物
	航空規制情報	非危険物
特別の安全対策		輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。 移動の際に、転倒、衝撃、摩擦、圧壊、漏洩などを生じないようにする。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 運搬中の事故等により災害が発生した場合は、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。 重量物を上積みしない。 輸送時にイエローカードを携帯する。
緊急時応急措置指針番号		なし
15. 適用法令		
労働安全衛生法		名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)(鉱油)
		名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)(鉱油)
労働基準法		疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条・別表第1の2第4号1・昭53労告36号)(キシレン)
消防法		第4類引火性液体、第四石油類法第2条第7項危険物別表第1)
16. その他の情報		
連絡先		株式会社阿部商会
参考文献		NITE GHS分類公表データ RTECS ECHA C&L Inventory Database ECHA Registered substances Database Afton Chemical Asia Pte社製SDS(2018.02.05) 阿部商会社製SDS(2017.09.13) GS Caltex 社製MSDS(2016.02.23)
その他		記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。
改版履歴	2020年8月14日	